

- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深 2cm/日以上）
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
 - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
 - ◆ 処理後に高温傾向が続くと予想される時
 - ◆ 稲の根が露出している水田
- 活着遅延が生じるような異常低温及び寡照条件下では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- 処理田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

毒性情報

アレルギー反応を引き起こすおそれがある。

安全上の注意

- ① ミストを吸入しないこと。
- ② かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- ③ 汚染された衣服は脱ぐこと。
- ④ 作業後は身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ⑤ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。

応急処置

皮膚に付着した場合、よく洗い落とすこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の手当を受けること。

- ❖ 使用者に際して講ずべき被害防止方法

農業使用者に係る被害防止方法

防護装備

〔薬剤調製者〕 移植水稻：不浸透性手袋

〔散布者〕 移植水稻：農業用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣

- ❖ 蜜蜂に係る被害防止方法：該当なし
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
散布後は水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。